



8

アウトライン

- I. 北海道の地方宣教
- II. こども宣教・イッピーの歩み
- III. 小さな者と共に歩む道



聖書引用 新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会 許諾番号4-1062-2

9



10

鹿追キリスト教会 十勝聖書フォーラム



ダントツで、最も田舎にある、最も小さな聖書フォーラム

11

鹿追町について



12

十勝について



13

地域宣教の現実から

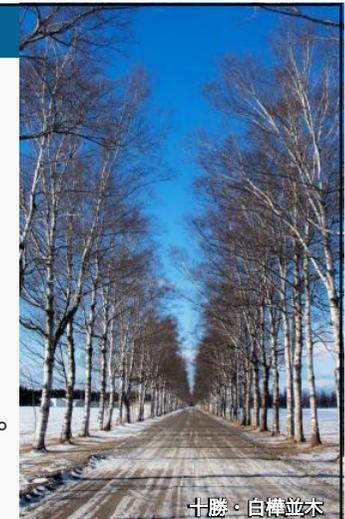
- 都市部の大教会など、絶対無理!!
好き好んで北海道の地方へ来て25年。
15,000人→5,500人→4,800人
- 聖書フォーラム参加前の試算…。
1千万人で300人 = 10万人に3人
200万の札幌 = 60人
35万人の十勝は、10~11人
5千人弱の鹿追は、0~1人
(※ハーベストタイムは北海道では未放送)



14

二つ名の理由

- 聖書フォーラムでの名称が、
十勝聖書フォーラム
→“十勝”にこだわり
- 地元での未信者向けの名称が、
鹿追キリスト教会
- 町の歴史百年で初のキリスト教会。
文字通りの開拓。わかりやすさ命。
天理教の教会が多い。「キリスト」は必須。
→ゆえの、キリスト教会、牧師
(以前の教団の教師職は正式に返上)



15

地域宣教の現実

- 最初に赴任した空知の教会で
当初の礼拝出席 …数名
娘の受洗 →十年ぶりの受洗者
- 地方の教会に共通する課題
「苗床教会」→成長したら都市へ
地元民の教会への敷居の高さ
教会員の流動性の高さ



石狩平野

16

すべては地域宣教の視点から

- Youtubeのライブ配信の理由
道内半数以上の町村は教会なし
身動きのとれない厳冬期の吹雪
- 地元民にとっての教会の敷居の高さ
→気軽に中を覗けるように
- コロナ禍で視聴者が倍増
先見性があった？ →想定外



鹿追町

17

地域教会であるということ

- 思い知らされた、
ネット上のつながりの脆弱さ。
→入れ替わりの激しさ
→やはり地理的に遠すぎる十勝
- 長らく支援して下さる方々は、
足もとで地域教会とのつながりが。
- 地域教会とは本来、
その地域にいるキリスト者の群れ。
→エペソにいるコリント教会員??



鹿追町

18

I. こども宣教・イッピーのあゆみ



十勝・白樺並木

19

イッピーの活動

- 毎週土曜日に活動。
中心は、**みっちりバイブルスタディ!!**
→ヘブリス的視点で。終末論もばっちり
- 一緒に準備してご飯を食べる。
悩み事も本音も出る、大事な時間。
- 小物づくり、時にはお出かけも。
- 月に一度は、ライブ配信。
世界に発信!! 子どもたちが主体!!



ライブ配信中

20

イッピーのはじまり

- 隣町の前任の教会で。道外から、キッズゴスペルチームを迎えてコンサート。
- フィンランド発のキッズゴスペル。
(※イッピーは、ヤッターという意味)
- **こどものこどもによる こどものための宣教**
コンサートも、こどもたちが主体になって!!
- 参加した子が、家で友だちの前で歌ってる!!
→これは、教会でも始めるしかない!!



十勝の高原で

21

おどろき

- 息子の学年の子を中心に、地元の小学生が集うように。
- ある時、会の後、こどもたちが勝手に聖書輪読会を!!
「聖書読みたい?」 →ほとんどが、マイ聖書を購入!!
- 学校の自由活動の時間にも賛美していた子どもたち!!
→聖書も大好きで、信仰も育まれていった。
- そんな中、牧師の退任が決定。イッピー消失の危機!!
子どもたちを置いていけない!! →地元で開拓の決意。
→道が開かれ、隣町に鹿追教会が誕生。



22

こどもたちの成長

- ダウン症の息子・和実との支援つながりの子が多数。
ほとんどは、発達障害を抱えた子たち。
- 多動なのに、バイブルスタディはじっくりやる子
- 本は読めないのに、聖書は読む子
- 宿題はできないけど、デボーションはする子
- 地元の支援関係者からも一目置かれるように!!
→教会に行くとこどもたちが変わる!!
→クレマーのモンスターペアレントが変わった!!



23

Rくんの話

- 最初来たときは小学校低学年
一瞬もじっとしてられない →でも聴いてる？
- 両親も発達障害。人前でも子を怒鳴る殴る。
学校では超問題児。からかわれてはキレて…。
教会でキレて、包丁を持ちだしてきたことも!!
- ある時、イエスの十字架と復活が分かった!!
その日を境に、暴言も暴力もピタッと止まった。
はじめて来た親子に、霊的配慮までするように。
→お母さんも福音を信じた。



24

こどもたちの試練と成長

- こどもに信教の自由はない?! 現実
信仰ゆえに離された子たちも…。
子どもたちも、悲しい別れを経験。
- SさんとYさん、第一志望に落ち、
仏教系の私立と一緒に通うように。
励まし合って歩んだ高校生活。
主から離れてしまいそうな時も。
信仰の戦いを共に乗り越えてきた。
- それぞれ家族にも認められて受洗
イッピーに通り始めて10年以上!!



25

こどもたちに教えられてきたこと

- 求めるものは大人と変わらない
→伝えることも当然同じ
救いも裁きも、終末論も
- 口先だけでは、何も通じない
→誠実に向き合うしかない
→問われるのは大人の側の信仰



じゃがいも掘り

26

幸いだった こどもたちの環境

- 未信者の家庭の子ばかり
本人の意志に委ねるしか!!
- 主に託すしかない信仰の成長
 - とにかく御言葉 聖書の学び
 - 大事な食事の時間
分かちあい、励まし合って
互いに相談ごとも



他の教会でコンサート

27

とにかくにも御言葉!!

- メインは聖書の学び
- 大切なテーマは繰り返して。
罪と救い、福音、聖化、終末論…
初めての子がいれば、必ず福音を伝える!!
- 難しい言葉もそのまま伝えて大丈夫。
むしろ素直に、そのまま受け取る。
難解なことも、繰り返し話していたら、
子どもたちの方から成長して理解する。



28

派遣されて成長する!!

- 「始めて数ヶ月以内に派遣して!!」
→施設での子どもたちの姿に驚き
- 子どもの記憶に残るのは、
大人が作った完成した行事じゃない。
→自分たちで考えて、実行したこと
- 子どもが子どもに伝える力の強さ!!
つたないプログラムも主が用いられて



29

自発的に 喜んで

- 数年前の夏のキャンプ。楽しそうに
準備を始めたSさん、Yさん。
以来率先して、みんなのリーダーに。
- いろんな凸凹のある子たちを
さりげなくフォロー。
- 決して無理強いせず、忍耐して。
寄り添いつつ。一緒に歩む。
なにより、喜んで。楽しんで♪



30

遣わされる信仰者を!!

- 過疎地のこどもたち。
進学や就職で、
いつか巣立っていくのが、前提。
いつまでも手元に置いておけない。
遣わされた先で仕える信仰者に!!
- 大学進学した、Sさん、Yさん。
全国の夏キャンプでスタッフに!!
こどもたちには「先生」と呼ばれて!!



31



Ⅲ. 小さな者と共に歩む道

32

子どもたちのように悔い改めて

■ **誰が一番偉い？ 弟子への答え** マタイ18:23
 イエスは一人の子どもを呼び寄せ、彼らの真ん中に立たせて、こう言われた。「まことに、あなたがたに言います。向きを変えて*子どもたち*のようにならないければ、決して天の御国に入れません。」

*“悔い改め”とは、方向転換
 *パイディオン…生後間もなく…童謡を歌う年代…

33

悔い改めに早い子どもたち

- 耳に痛い話も、「あ〜っ」といいながら聞いて、すぐに悔い改めるRくん。
- 早い悔い改めの土台は、主への固い信頼。
 「イエス様は絶対、僕を見捨てない!!」
 →大失敗して凹んでも、微動だにしない確信
- 救いの確信あってこそその悔い改めと教えられる。

悔い改めに早いのは、確かな信仰の証し!!

34

子どもたちを来させなさい

- **子どもを招かれた主イエス** マタイ19:14
 「子どもたちを来させなさい。わたしのところに来るのを邪魔してはいけません。天の御国はこのような者たちのものなのです。」
- 積極的に、強く、子どもたちを招いた主イエス。
 御国にふさわしいのは、自分の弱さを知っていて、主に従順に、主を求める、子どものような者。

35

主が招かれている子どもたち

- 子どもも、神を求める思いは大人と変わらない。無関心だったり、あざける子だっているけれど、自分の罪や、他者の罪に悩まされている子がいる。とりわけ弱い立場で、孤独にあえいでいる子がいる。
- 行動も意志も、制限されているのが子どもたち。子どもたちへの宣教は、地域教会の重大な使命。

主が招かれている子どもたちを招き入れよう

36

つまずかせる者の重い罪

■ 主イエスの厳しい警告 マタイ18:6

「わたしを信じるこの小さい者たち*の一人をつまずかせる者は、大きな石臼を首にかけられて、海の深みに沈められるほうがよいのです。」

*弱い立場に置かれた人々の代表が、子どもたち

- 大人の不信仰が、子どものつまずきを招くなら、その責任は重大。

37

つまずかせる者を除かれる主

- 子どもたちと接する中で、露わになる大人の信仰。
 - …自分が可愛いだけの利己的な人
 - …口先だけで行動のまるで伴わない人
 - …平然と嘘をつく人もいたけれど
- 不思議と明らかになって、自ずと去って行った。子どもたちを通して教会が守られてきた、とも。

38

主の教育と訓戒によって

■ 子どもの教育についての戒め エペソ6:4

「父たちよ。自分の子どもたちを怒らせてはいけません。むしろ、**主の教育と訓戒**によって育てなさい。」

- 未信者の家庭の子ばかりで幸いだった鹿追教会。強制力は皆無。子どもたちの自主性に委ねるしか。
- 集って来た子に伝えられるのは主の御言葉だけ。聖書から語りかける意外にできることはない。

39

成長させたのは神

■ **成長させたのは神** | コリ3:6~7

私が植えて、アポロが水を注ぎました。しかし、**成長させたのは神**です。

ですから、大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、**成長させてくださる神**です。

■ 子どもたちの成長に、驚かされるたびに実感!!
主が育ててくださっている!!

40

御言葉に育まれて行った子どもたち

「聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。 || テモ3:16」

■ キッズゴスペルとしてスタートしたけれど、いつしか聖書の学びが大半に。

■ 子どもたちの心に響くのは、主の御言葉。
学びを深めるほど、成長させられていった。

41

御言葉に刺し貫かれて

「神のことは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに刺し貫き、心の思いやはかりごとを見分けることができます。ヘブル 4:12」

■ 「あいたた」と声をあげ、顔をしかめる子たち。
素直な反応に、大人たちの心も揺さぶられて。
共に御言葉に刺し貫かれ、打ち砕かれてきた。

42

若い日に主を覚える幸い

「あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。わざわざの日は来ないうちに、また「何の喜びもない」と言う年月が近づく前に。伝道者の書12:1」

■ こどもの頃に、主を受け入れることの幸いは、
最初から小さな者としての自覚を与えられていること。
→自分の弱さを思い知らされるところからのスタート

砕かれるほどに、小ささを自覚させられ、信仰は成長

43

心の貧しい者は幸い

「心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人たちのものだからです。マタイ5:3」

- 心の貧しさ、ちっぽけさ、力のなさ…。
誰よりも思い知らされる小さな者が幸いとされる。
打ち砕かれた心で、主に前にへりくだることで。

44

こどもたちの存在のゆえに

- 小さな町の、あまりに小さな教会が、
今日まで支えられ、必要を満たされてきた。
- こどもたちの信仰のゆえに、主が憐れみ、
慈しんで、守り支えてくださったのだと実感する。
- 小さな者たちの信仰ゆえに、イスラエルと世界が
保たれているように。

45

小さな者に寄り添う道を

- 見捨てられつつある過疎地で、
最も小さな存在として置かれている子どもたち。
- 小さな者に寄り添う術を、主イエスが教えられる。
主は、家畜小屋で生まれ、名もない村で生まれ、
辺境の地で、漁師や徴税人を弟子とされ、
罪人と食事を共にされた。

主イエスは、その地で、人々と共に生きられた

46

★ 小さな者と歩む道 ★

- 見捨てられつつある地方で、
見捨てられた人々がいる。子どもたち、障害者…。
- 破れだらけの私だとしても、主の愛をもって、
誠実に、率直に、人々と向き合い、寄り添おう。
- 遣わされた地に、足をつけて歩む者と、
主が軛を共にして、支え導いてくださるから。
主が、定められた民を、必ず救いに導かれる。

47

てん どう わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

わたし つみ あがな しゅじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

こ あゆ わたし めく
子どもたちとの歩みが、私たちにとってははかりしれない恵みです。

こ しんこう しゅ ささ みちび
子どもたちの信仰のゆえに、主に支えられ、導かれてきました。

こ わたし ち つか もち
。子どもたちと共に、この地に遣わしてください。用いてください。

かんしゃ しゅ な いの
感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」